

第4回 湯沢町総合計画審議会 要旨

日時：令和2年11月26日10時00分

会場：湯沢町役場 3階 大会議室

参加者：委員13名 事務局5名

次第

1. 会長あいさつ

水谷さんは今回が初のご出席だが、移住定住の面でもお世話になっているので、こちらの総合計画でも引き続きご活躍いただきたい。

前回までの経過を事務局の説明の前に簡単にさせていただくと、総合計画は、基本構想・基本計画の2階建てのものになっているが、基本構想の5つの基本政策（5本の柱）があると説明をいただいたところだった。本日はその1階の部分にあたる基本計画の中の基本政策について、1～3まで具体的に審議していきたい。

2. 議題

(1) 総合計画 基本計画について（基本政策1～3）【配布資料】

○平賀主任より説明

鷲見会長

5つの柱があるということについては、皆さんご納得いただいていると思うので、今回は個別・具体的なお議論を進めていってほしい。

【基本政策1 産業振興・就労について】

山口委員

DMOの設立について、4月1日設立予定で議論が進められている。DMOと連携をして、実際の成果を上げられるように総合計画や紐づく事業を進めていってほしい。

山本委員

観光振興と起業支援について、立地優位性が起業支援には記載があるが、観光振興の箇所にはない。観光振興についても優位性があると思うので、こちらにも追記していってほしい。

林副会長

11pの女性の活躍、女性の就労の支援の記載をどこかに必ず追加してほしい。労働力の確保という意味でも必要だと考える。

インキュベーションセンターの稼働率、起業の件数が落ち込んでいる。成果指標は、本当に「起業件数」でいいのだろうかと感じている。

鷺見会長

成果指標が起業件数については、総合戦略の方で、フォローアップをしていくということによいか？

林副会長

それで良い。

サテライトオフィスの開設件数については、どういった認識で設定しているのか？

富沢課長

今年度10月より、新潟県と連携をして、「湯沢町サテライトオフィススタートアップ支援補助金」を創設した。成果指標は、県からの指示等によるものではなく、町独自で、5年間で5件という成果指標を設定した。

弦巻委員

38pの年間観光客数（うち冬季以外）について、冬季以外の観光客数と、延べ宿泊者数とでは、期間限定と通年で期間が異なり少しわかりづらい気がする。

富沢課長

私も少しわかりづらいと感じたので表記については再検討してみる。

入江委員

冬の観光客数は減っているという認識によいか？

富沢課長

バブルのピーク当時に比べれば、当然減っているが、やはり観光客は冬季に集中しているため、長年課題となっている冬季以外の観光客数を増やしていこうという意図がある。

入江委員

おもてなしの心についてのアンケートは自己評価なのであてにならないと思う。お客さんがおもてなしを感じたかどうかの方が重要なデータになると思う。

また、ハーフマラソン参加者やスキー観光客数の母数が減っている傾向はあると思うが、他が減っているから、うちも減っているという考え方はおかしいと思う。母数が減っても、魅力があれば安定して人は集まる。

山口委員

おもてなしについては、町民に対するメッセージだと思う。町から直接町民の方に、「ちゃんとおもてなしをしてよ。」とはなかなか言えない。

【基本政策2 保健・福祉・医療について】

山口委員

町内で産科のある病院がないということで妊婦の方は大変な思いをしているという話が以前あったと思うが、これについて何か施策は考えているのか？

また、47pの循環器系の医療費の割合が高いという記載があるのは、何か理由があるのか？

富沢課長

総合戦略の中でも、近隣に産科がないため、妊婦の不安を取り除く施策を検討すると記載があるので、具体案については現在検討中である。

循環器系の医療費割合が高いことについては、湯沢町は比較的健康的な高齢者の割合が高いことは分かっているが、具体的な回答はできない。

林副会長

湯沢町の自殺者の中で、今後経済的な理由から自殺を図る方が増えてくることが想定されるので、それを防止する意味でも、心のケアだけでなく、法律相談等のケアも行っていくべきだと考える。

入江委員

51pの医療福祉体制について、今年湯沢町で人間ドッグを受診したがレベルが低いと感じた。東京では、カメラで胃や腸の検査ができて当たり前だが、医療センターでは、検便による検査でその検査を行っている。低いレベルの医療

を受けているという町民の認識が必要だと思う。

佐久間委員

循環器医療費の割合が高いということについて、湯沢町は塩分摂取量が多いという課題があると思う。書き方については確かに疑問が残るものだと思うので、検討をしてほしい。

障がい者支援について、障がい者の就労・就業支援や社会参加に対する支援も追加したほうがいい。

富沢課長

障がい者の就労については、すでに記載がある。

鷲見会長

「社会参加に向けた支援の充実」というタイトルに、就労支援を行っていることがわかる追記をした方が親切かと思う。

水谷委員

57pの医療体制に関する記載について、湯沢医療センターの機能維持とあるが、妊娠・出産のこともふまえ、維持ではなく、向上させるくらいの記載を加えたほうがいい。

鷲見会長

現状を鑑み、「維持」としたが、背筋を伸ばされた思いになる。やはり向上させていくべきだと感じる。

水谷委員

例えば、導入コストは高いですが、MRIを導入すれば、病院の受け入れのキャパシティが広がることで経営改善につながると思う。

富沢課長

町から医療センターに対する補助金を1億円以上交付しているが、赤字なのは変わらない。新たな設備投資等は費用対効果を鑑みると難しいのが現状。

国の方でも地方の公立病院の経営について改善する動きがあり、町担当課で改革プランを策定している。

【基本政策3 環境・基盤整備・安全安心について】

山本委員

公共交通の充実とあるが、湯沢町が持つ交通体系を活かしたものにすることがある。湯沢町には、町内の至るところを巡っている送迎バスという特殊な交通手段がある。これは全体的に見れば無駄も相当あり、一元化できればかなりの効率化に繋がると思う。拠点になる駅やインターが町の真ん中にあることもプラスの特性になっていると思う。

林副会長

制度上、有料で送迎バスを運行することは難しいと思う。既存の路線バスをいかに有効活用していくかを検討するほうが有意義だと感じている。乗車率も極めて低いのに運行しているルートもある。高齢者の足の確保もふまえて検討する必要がある。

富沢課長

検討はさせていただく。湯沢町の公共交通については少し限界を感じているというのが正直なところだが、新潟県と連携して進めているリーディングプロジェクトにて、県から公共交通についての改善策をプランニングしていただく事業が現在進行中なので、抜本的な改革ができるようにしたいと考えている。

また、公共交通の改革は法律上規制が厳しいという側面もあるが、民間人を含めた協議会を設立して進めることで一部緩和できるという話もあるのでそれらをふまえて進めていきたい。

池田委員

昨年の台風19号の時、消防団員として各家庭を回ったが、避難の案内や配信された情報等が全て日本語だけで外国人の対応が全くできていなかったと感じたので、災害時の外国人への対応という記載も追加したほうがいいと考える。

奥田委員

環境を活かしたまちづくりについて、基本政策1に記載があるようなことは、どこの地域についてでも当てはまるように思える。例えば、白馬は、山岳リゾートとしてトップを目指すというビジョンを掲げて取り組んでいるし、南魚沼市ではスノーボードを資源として考えて、移住のターゲットとしてい

る。町の最上位計画であるならば、特に観光に関することは、目指すべきポイントをとがらせて記載していったほうが町民にも考えを示すことができるし、若い子どもも「～でトップを目指しているまち」ということで誇りを持ちやすいと思う。

鷺見委員

いわゆる、とがらせていくという点は、行政ではなかなかない考え方だと思うが、奥田委員のような若い世代の意見は非常に貴重であるので、是非検討材料に加えてほしいと思う。

松田委員

奥田委員と鷺見会長の言う通りだと感じている。だいたいどこの総合計画も町の名前を変えれば同じようなものになると思うが、湯沢町は特性を出しやすい自治体だと思うので、出していったほうが良いと思う。

総合計画は行政が作るが、実際の町づくりは行政だけではないので、町民に示す時にも、みんなでがんばろうというメッセージを送るという意味ではっきりした目標があった方がいい。その際、指標などは分かりづらい点が多々あると思うので、町民目線で分かりやすく関わりやすい計画策定を進めていければと思う。

3. その他

【次回】令和2年12月9日（水）10時から 大会議室